さつき学園だより

令和８年 10 月 20 日号



６年生　修学旅行「平和について考えよう。仲間を大事にしよう」

＜１日目＞　10 月 12 日（月）広島へ出発！

祝日の早朝の集合にもかかわらず、保護者の皆様、クラブに参加していた後期生、教職員に見送られ、56 名全員が広島に向けて出発しました。バス、新幹線と乗り継ぎ広島に到着。連休の最終日ということもあり、観光客の方がたくさんいて、帽子をかぶっている子を目印に歩いていく状況でした。(帽子の重要性を再確認！)市電では、初めての路面電車の児童も多く、がたがた揺れる車両の中で広島市内の景色を眺めていました。







電車をおりたら、すぐ目の前に原爆ドームがあります。「これが・・・。」とつぶやいていた子がいました。写真の中では何度となく見ていた原爆ドームを目の当たりにし、また元安川を見て、「ここにたくさんの人がいたのか。」と今まで学習してきたことを思い出している様子に、しっかり学ぼうとしている姿勢が見られました。

記念写真撮影後、平和の子の像の前で平和セレモニーを行いました。平和宣言の後『ヒロシマのある国で』を歌い、６年生が自分たちでデザインしたおりづるボードを収めてきました。多くの外国人観光客の人も静かに見守っておられました。







昼食後は、活動班に分かれて、様々な記念碑を見て回り、外国の方にインタビューもしていました。





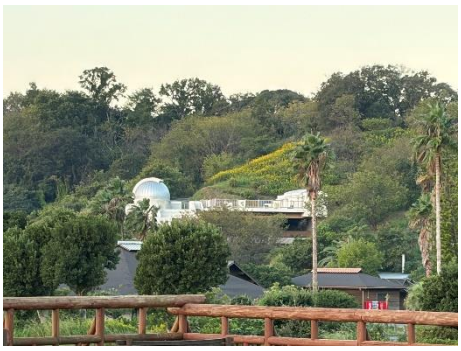


原爆記念館の見学を終えた後は、大阪から走ってきてくれたバスに乗り込み、宿泊地の蒲刈島に向かいました。おやつタイムで盛り上がっている間に、目の前には夕日に輝く素晴らしい海辺の風景が見え始め、「うわあ、きれい！」と歓声が上がりました。クラス写真の後は開所式を行い、宿舎の方に挨拶をした後、各自荷物を持って部屋に入りました。





買い物、入浴、部屋の整理を順番に回った後は、待ちに待った夕食です。近くの海でとれたお刺身を頂き、ご飯もしっかり食べました。そのあとは、天体観測です。新月の後だったことと、雲一つない天気だったので、満天の星空に、息をのむ・・・こともなく、口々に歓声を挙げていました。「星の数はいくつ？」「ビックバンってどうやって起きたの？」など次々出てくる質問に的確に答えてくださる星博士（天文館館長）に子どもたちはびっくりしていました。天体望遠鏡できれいな土星を見せてもらいました。本当に素敵な体験でした。


＜2 日目＞　　13 日（火）　仲間とともに　レッツアクティビティ！

さわやかな朝日を浴びながら、敷地内を散歩したあと、朝食を食べました。納豆を食べるのが初めて児童もいましたが、「挑戦してみる。」とドキドキしながら、食べている姿が印象的でした。

朝食後は、グループに分かれて、藻塩記念館の見学、素焼きの土器にかん水（濃い塩水）を入れて沸騰させていく藻塩づくり、広々とした浜辺での浜遊び、仲間と力と声を合わせて漕ぐカッター体験など、蒲刈島ならではの体験を楽しんでいました。









藻塩づくりの後には、ジャガイモに、藻塩をかけて試食。















昼食は、大釜で炊き上げた、地元の名産の鯛めしです。ふっくらした鯛の身がたっぷり入った炊き込みご飯をいただきました。何杯もおかわりしている子もいました。

退所式が終わった後は、バスに乗り込み出発です。出発して、バスの窓から海を見ると、宿舎の方がサップに乗って追いかけてきてくださり、バスが見えなくなるまでオールを振って見送ってくださいました。

今回の修学旅行では、自分たちが自由に学び、自由に友達と過ごし、自由に買い物もできて、自由に旅行にいくことができるということは、どれだけありがたいことなのか、そしてそれを支えてくださる周りの人たちへの感謝についても振り返るよい機会になったと思います。







